

校長室だより

No. 26

平成30年10月26日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよし かず  
加藤嘉一

### 子供の記憶と学芸会の楽しみ方 ー学芸会の価値ー

先週学芸会下見の会を終えたときに、「3年前の6年生の劇を思い出していたのだけれど、何ていう題名だったかなあ。」と話すと、「それって時間泥棒じゃない？」と6年生の子たちがすぐに答えてくれました。すごいと思いました。子供たちは、自分のやってきた演目だけでなく、自分たちが見てきた他の学年の劇までほぼ全部覚えているのです。それも数年前のものまで。

先週からお昼の放送の時間に、昨年の学芸会のビデオを流し、学びを深め、気持ちを高めています。テレビで劇中の曲が流れ始めると、給食中にもかかわらず、多くの教室から合唱し始める歌声が聞こえてきました。1年前の曲なのに子供たちは完全に歌いきることができています。あらためて、学芸会がどれだけ子供の心に残るものなのかと学ばされました。

今週の火曜日の校内学芸会では、1年生の音楽劇「おしゃべりのたまごやき」を見終わった後の子供たちが、「王様、お腹へりましたね。」「あ、うん。」と劇の中のセリフを作り変えて楽しんでいます。4年1組の物語劇「桃次郎」の中で、「♪ももたろうさん、ももたろうさん。おこしにつけたきび団子、一つ私にくださいな♪」と桃太郎の伴奏が流れると、見ている子供たちみんなで歌い始めました。その日初めて見るはずなのに、6年1組の劇が始まる前には、「この劇面白いよ。」と、どこからか情報を得ています。5年の音楽劇「十五少年漂流記」では演奏者が手拍子をするので、会場全体がそれにのってすぐに手拍子をし始めました。子供たちは、学芸会を心から楽しんでいるのでした。

今年、校内学芸会の日には給食でなく弁当にした理由の一つに、1・2年生の子たちに



【4年1組 物語劇 桃次郎の冒険】



【6年1組 民話劇 地蔵の村】



【5年生 音楽劇 十五少年漂流記】

全校の劇を全て見せてあげるためです。これまで1・2年生は、給食をはさむと給食の準備・片付け等で時間がかかり、最後の劇まで見られずに下校しなければならなりません。子供たちは、最後まで見たくて仕方がありませんでした。今年は、昼食等の時間が短縮でき、1年生の子たちも大満足でした。保護者の皆さんの御協力のおかげです。ありがとうございました。



明日学芸会本番です。もう、子供たちは観客にはなりません。今度の観客は、保護者、地域の皆さんです。どうぞ子供たちが精いっぱい演じる「味のある劇と演奏」を一緒になって鑑賞し、思い出の一ページを作ってください。

【校内学芸会を終え、本番でがんばりたいこと 3年女子】

セリフをはっきり言って、表情やおもしろさを見ている人に伝えたいです。

【校内発表会をして（保護者のみなさんへ） 2年女子】

わたしの心にのこったげきは、「大切なもの」（6年2組）です。そのげきは、せいかつのものがたりです。べんきょうも、うんどうもにがてだったリュウイチに、まほうつかいがきて、スケッチブックにえをかくと、3しゅうかんだけそのとおりになります。そして、ある日まほうつかいとリュウイチがねているあいだに、6年のお友だちがきて、どろぼうでスケッチブックをぬすんだというお話です。

じぶんのげきでおもしろいところは、ながすねのところ。なぜかという、おともが、「いくんだ。」といいます。そして、とびこみます。そしたらあしが上にのびるのでおもしろいです。たのしみにしてください。

【校内発表会をして（保護者のみなさんへ） 2年男子】

ぼくはゴキブリがにがてです。それで、このげき（4年2組）を見たいと思いました。ゴキブリが出たら、ハエたたきなどでたいじします。でも、このげきを思いついたのは、すごいと思います。自分たちのげきは、ぼくのセリフは10点です。なぜかという、テンポがわるかったからです。本ばんでもがんばりたいです。早く見に来て下さい。

### 今年初めて学芸会にて福祉施設と交流を実施

今年は、5年生が福祉の学習でお世話になる「なのはな苑」の方々が、交流として校内学芸会の参観に来られました。「子供たちが一生懸命にやっているのが感動して涙が出ました。本当にありがとうございました」とおっしゃっていただきました。高齢者の方にも喜んでいただける場としても、一つグレードアップしていく学芸会になった気がしています。